

成田赤十字病院を受診された患者さんへ

成田赤十字病院では下記の研究を行っています。

この研究は、成田赤十字病院倫理委員会の審査を受け、院長の許可を得て行っているものです。

1. 研究課題名

「大動脈解離に対する人工血管 Gelweave Lupiae を用いた全弓部置換術およびオーパンステントグラフト法の治療成績の検討」

2. 研究の対象となる方

2016年4月～2023年1月に当院で大動脈解離に対して全弓部置換術及びオーパンステントグラフト挿入術を受けた方

3. 研究の目的

急性 Stanford A 型急性大動脈解離に対する全弓部置換術の手術リスクは高く院内死亡率は10～30%に及ぶとされる。近年、新たな治療選択肢としてオーパンステントグラフトが登場し、これを使用した Frozen Elephant Trunk (FET) 法の有用性について報告が増えている。オーパンステントの使用により末梢吻合を従来より中枢側で行うことが可能になり、偽腔のリモデリングも期待できる。当科ではオーパンステントグラフトの効果をより高めるため、併用人工血管として Gelweave Lupiae を使用する方法を基本術式としている。Lupiae は頸部分枝再建用の3分岐が1箇所を集まっており、末梢吻合をより中枢寄りで行いやすい点が特長であるが、これを用いた治療成績の報告は少ない。当院における大動脈解離に対する Gelweave lupiae を用いた全弓部置換術及び FET 法の治療成績を明らかにし、この病態に対する Gelweave lupiae を用いることの妥当性を検討する。

4. 研究の方法

-対象となる患者さん

当施設において 2016年4月～2023年1月の間に大動脈解離に対して全弓部大動脈瘤置換術及び FET 法を受けた患者さん。同時施行手術の種類は問わない。

-利用する情報

既存情報（性別、年齢、既往歴、合併症、手術情報、CT 検査データ、術後合併症等）を収集する。

5. 研究期間

成田赤十字病院 倫理委員会承認日～2024年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の項目

既存情報（性別、年齢、既往歴、合併症、手術情報、CT 検査データ、術後合併症等）

7. 院外への試料・情報の提供

試料・情報の他の研究機関への提供は行わない。

8. 個人情報の保護について

この研究にご参加いただいた場合、研究を通じて得られた患者さんの記録が学術雑誌や学会で発表されることがありますが、研究を通じて得られた患者さんの記録は、個人情報保護のため匿名化され、番号等 個人が特定できない形式により管理されます。

9. 研究への不参加の自由について

試料・情報がこの研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方から不参加のお申し出があった場合は研究対象としません。不参加のご判断をされた場合は下記の「連絡先」までお申出ください。（不参加のお申し出があった場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。）

但し、学会や論文で発表した後など、不参加の意思を表明した時期によっては情報の削除ができない場合もありますのでご理解ください。

10. 研究組織

【研究組織】

研究責任者：成田赤十字病院 心臓血管外科 渡邊 裕之

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

成田赤十字病院 院長 青墳 信之

11. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究に関連し開示すべき利益相反関係等にある企業等はありません。

12. 連絡先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

成田赤十字病院

研究責任者：心臓血管外科 渡邊 裕之

住 所：〒286-8523 千葉県成田市飯田町 90 番地 1

電 話 番 号：0476-22-2311（代表番号）

以上